

特定の着信を拒否する

指定した電話番号や、発信者番号が通知されない相手（非通知、公衆電話、通知不可能の相手）、アドレス帳に登録していない相手からの着信を受けないように設定することができます。

※音声電話の着信拒否を設定している場合でも、テレビ電話やグループテレビ電話は着信します。また、テレビ電話やグループテレビ電話の着信拒否を設定している場合でも、音声電話は着信します。

1

2 「音声着信」 / 「テレビ電話着信」（グループテレビ電話も含む）⇒ ⇒ ロック No.を入力⇒

3 設定する項目を選ぶ⇒

表示される項目は機能によって異なります。

指定番号	指定した電話番号からの着信を受けないように設定（最大20件） 1 「番号リスト」⇒ <input type="checkbox"/> 2 「直接入力」⇒ <input type="checkbox"/> > 「アドレス帳引用」 / 「履歴引用」 / 「メモ帳引用」 / 「プロフィール引用」を選ぶと、本体に登録されている情報を引用して電話番号を設定することができます。 3 電話番号を入力⇒ <input type="checkbox"/> ⇒ 「完了」 4 設定した電話番号から着信したときの動作を選ぶ⇒ <input type="checkbox"/> > テレビ電話着信の場合は、「ON」を選びます。
非通知	発信者番号の通知がない着信を受けないように設定
公衆電話	公衆電話からの着信を受けないように設定
通知不可能	発信者番号の通知ができない相手からの着信を受けないように設定
アドレス帳登録外	発信者番号の通知があり、アドレス帳に登録していない相手からの着信を受けないように設定

※「OFF」に設定すると、対象の着信を受けるようになります。

- ・音声着信の場合は着信拒否を設定すると、以下の応答メッセージが流れ着信が拒否されます。応答メッセージが流れている間はかけてきた相手に通話料がかかります。
 - 拒否メッセージ：「この電話番号からの電話はお受けできません」
 - 公衆電話メッセージ：「公衆電話からの電話はお受けできません」
 - 非通知用メッセージ：「発信者番号通知がされておりません。電話番号の頭に186を付けておかけ直してください」
 - 無応答切断：着信拒否と同様の動作となり、かけてきた相手に接続できなかったことがアナウンスされます。
 - 留守メモ録音：簡易留守メモの応答メッセージが流れ自動応答します。
- ・テレビ電話 / グループテレビ電話の場合は「ON」に設定すると、指定した相手からの着信を受けなくなります。応答メッセージは流れず、かけてきた相手に通話料はかかりません。
- ・M43「着信拒否」は割込通話サービスには対応していないため、通話中に電話がかかってくると、通常の着信動作になります。
- ・M43「着信拒否」と「簡易留守メモ」が同時に設定されている場合は、着信拒否が優先されます。

「指定番号」

- ・「音声着信」と「テレビ電話着信」で共通の設定です。
- ・拒否番号リストに登録した電話から電話がかかっても、相手が電話番号を非通知にしてきた場合は、「非通知」の設定に従って動作します。
- ・お留守番サービスもしくは着信転送サービスの無応答転送を設定している場合は、「無応答切断」に設定してもお留守番サービスもしくは着信転送サービスに転送されます。